

# LDT-R（言語解読能力テスト改訂版）による Stage 分け

堺市立百舌鳥支援学校

## 1. 対象児

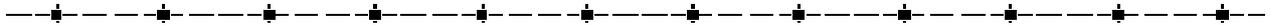
小学部・中学部 ( ) 年 ( ) 組 氏名 ( ) 性別 男・女

2. 検査日 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日、検査日年齢 ( ) 年 ( ) ヶ月

3. 検査者氏名 ( ) 担任・課題別担当者・学年付フリー・その他 ( )

## 4. 結果（記録表は以下に示す）

・太田の Stage 分け →       ・推定される認知発達の年齢 →



### LDT-R1：名称による物の指示

⇒物の名称で質問し、指さし（手さし）で答えさせる。

	質 問	P or F	特 記 事 項
①	猫はどれ（ですか）？		
②	ボールはどれ（ですか）？		
③	時計はどれ（ですか）？		
④	くつはどれ（ですか）？		
⑤	りんごはどれ（ですか）？		
⑥	自動車はどれ（ですか）？		

**評価基準** ・3問以下の正答 → Stage I（人への要求手段で Stage I-1、I-2、I-3）

・4問以上正答 → Stage II 以上

### LDT-R2：用途による物の指示

⇒物の用途で質問し、指さし（手さし）で答えさせる。

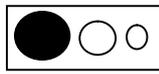
	質 問	P or F	特 記 事 項
①	飲むものはどれ（ですか）？		
②	書くものはどれ（ですか）？		
③	乗るものはどれ（ですか）？		
④	切るものはどれ（ですか）？		
⑤	座るものはどれ（ですか）？		
⑥	かぶるものはどれ（ですか）？		

**評価基準** ・3問以下の正答 → Stage II

・4問以上正答 → Stage III-1 以上

### LDT-R3：3つの大きさの比較

⇒大小の関係を質問し、指さし（手さし）で答えさせる。

	質 問	P or F	特 記 事 項
①	どっちが大きい？ (●は手で隠す)		
			
②	どっちが小さい？ (●は手で隠す)		
			

**評価基準** ・①と②がとも（4問とも）に正答 → StageIII-2 以上  
 ・それ以外の場合 → StageIII-1 ーただしー LDT-R4 で

- ・物と物を関連付けることができない。  
→StageIII-1 前半
- ・物と物を関連付けることができる。  
→StageIII-1 後半

### LDT-R4：空間関係の把握

⇒ことばの指示通りに、物（ミニチュアやブロックなど）を置かせる。2回行なう。

	質 問	1 回目 P or F	2 回目 P or F	特 記 事 項
①	犬を取ってください			
②	ボタンを箱の上に置いてください			
③	ハサミを積木のそばに置いてください			
④	箱をボタンの上に置いてください			
⑤	積木をハサミのそばに置いてください			

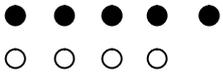
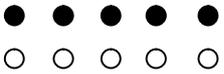
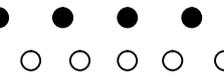
**評価基準** ・ { ①②③のすべて と ④or⑤のいずれか } 2回とも正答 → StageIV 以上  
 ・それ以外の場合 → StageIII-2 ーただしー

- 目の前にない物を名称で聞き、大小比較ができる。
- ・正解が 3/6 以下 → StageIII-2 前半
- ・正解が 4/6 以上 → StageIII-2 後半

「イスとえんぴつ」－「大きいのどっち?」、「車とコップ」－「小さいのどっち?」、「三輪車と飛行機」－「小さいのどっち?」  
 「みかんと帽子」－「大きいのどっち?」、「冷蔵庫と家」－「大きいのどっち?」、「りんごとテレビ」－「小さいのどっち?」

### LDT-R5：保存の概念

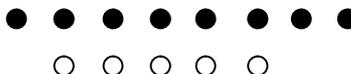
⇒白色と黒色の基石の数の多い少ないを答えさせる。

		
(黒5個、白4個を並べる)	(白を1個加える)	(黒のみ間隔を広げる)
どちらが多い? ⇒ P or F	どちらが多い? ⇒ P or F	どちらが多い? ⇒ P or F

### 評価基準

・すべてが正答の場合  
→ LDT-R6 へ  
 ・いずれかで失敗の場合  
→ StageIV-前

### LDT-R6：包含


黒と全部ではどちらが多い? ⇒ P or F

### 評価基準

・正答の場合 → StageV  
 ・失敗の場合 → StageIV-後